

22.2.10

朝日新聞
30

鹿大の チカラ

KAGOSHIMA
UNIVERSITY

法文学部

ネットワーク調査

桜井 芳生 教授(48)



「長期間、ネットワーク調査を蓄積していくが、個人が誰からどのような影響を受けているのかがわかるようになる」
桜井芳生教授／現代メディア文化論IIは社会学の観点から、ある個人が別の個人に及ぼす影響を調べる。ここ2年、利用しているのがネットワーク調査と呼ばれる調査法だ。

社会学の根幹と言つても過言ではない準拠集団論。「個人が所属する集団が、個人の意思決

定や他人の評価について影響を受けている」という理論だが、現実社会で個人が何に関する影響をどれほど受けているかを確定的に指摘した研究はほとんどない。集団の定義や、影響者と被影響者を具体的に区別することができ難いことがその原因だぞうだ。

そこで、役立つのがネットワーク調査法だ。

友が類呼ぶ仕組み研究

者の考えに被験者がどれだけ影響を受けているかを見る方法だ。

「『友が類を呼ぶ』のか、「類は友を呼ぶ」のか色々とわかりますよ」

これまでの研究から「恋愛」は人に伝染していくことがわかつた。

例えば、互いに面識がない被験者Aさん、Bさんがいる。初回のアンケート時、Aさんは恋愛をしておらず、Bさんは別の人にに対して恋愛をしていた。2回目のアンケート時も同様の結果だった。しかし、調査3回目。Bさんだけでなく、Aさんも恋愛をしていた。

実は、2回目の調査時、2人は友人関係になっていた。つまりAさんは恋愛をしているBさりAさんは恋愛をしているBさんの影響を受けて恋愛をするよ

係がみられる。

米国で別の研究者が行った研究によると、「肥満」「喫煙」「幸せ」は伝染していくのだと

いう。肥満の友人がいた場合は、その友人も肥満になるという実態が報告されている。「友が類になる」例だ。

「学生の方がセンスのいい質

問や組み合わせを見つけるときもあります」

授業でも簡易的なネットワー

ク調査法を実践する。学生を10チームほどに分け、各チームが質問項目を考える。そして10

チームほどに分け、各チームが

（類は友を呼ぶ）、また、ネットワークを形成していくのか

（類は友を呼ぶ）、また、ネットワークができた後はどうのよう

な属性が伝染していくのか（友

が類を呼ぶ）を理解することで、結婚や就職活動のメカニズムの解明にもつながるとみていい

例えば「腐女子」。腐女子と

は、男性同士の恋愛を扱う小説や漫画が好きな女子のこと。設

問の中に「自分は腐女子だ」と

答えた人と友人になった被験者は、数ヵ月後の調査で、自分を腐女子だと思うようになつていい

たという。

この研究で目指すのは、若者

は、世代の友人関係が恋愛や就職活動にどのように影響を与えてい

るのかを明らかにしていく」と